



# そらいろレポート

佐川急便環境報告書2000～2001



*SAGAWA EXPRESS CO., LTD.*

# C O N T E N T S

- 1      ごあいさつ
- 2 ~    経営理念
- 4 ~    環境理念  
         企業を取り巻く社会問題から環境問題の整理
- 6 ~    環境負荷低減への取り組み  
         環境年表一覧  
         低公害車の導入  
         天然ガス( CNG )車の導入とCNGスタンドの設置  
         環境マネジメントシステムの推進
- 14 ~   社内環境啓発活動  
         エコドライブの実践
- 16 ~   Publicity
- 18 ~   環境啓発コミュニケーションイベント  
         社外環境啓発活動におけるテーマの変遷  
         イベント実績
- 24    2001年   さらなる美しい空へ   - 挑戦 -

## 2001年 さらなる美しい空へ

私たちが豊かさと便利さを求めた20世紀型の「大量生産、大量消費、大量廃棄の社会」は、大気汚染や地球温暖化現象、水質汚濁、土壌汚染などの様々な環境汚染を引き起こし、地球のすべての生命に存続の危機をもたらしてしまいました。

これらの危機への反省と対処として、21世紀を生きる人々は「持続可能な循環型社会」の構築に向けて様々な取り組みをし、緑の地球を取り戻そうと動き始めています。

それらの地球的動きの中で弊社は、1997年地球温暖化防止京都会議(COP3)を契機に、経営層を中心としたエコプロジェクト推進委員会を設置し、企業市民として地球環境保全や地域社会の発展に貢献できるよう、環境とサービスの共生の実現に向け、本格的に活動を開始しました。

1998年には、21世紀にむけた統一スローガンに、「安全 環境 そしてサービス」を掲げ、当社の経営方針に環境保全のための指針を明確にし、グループ全企業に周知、徹底をはかり、環境問題は21世紀の経営の根幹をなすと訴え、実行してまいりました。

2000年11月より本社では環境マネジメントシステムを立ち上げ、本年8月に環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を取得いたしました。この認証取得により、今後の当社の経営方針や施策において、環境活動をより具現化してまいり所存です。

環境の世紀といわれる21世紀の社会において、存続を望まれる企業として、緑の地球と美しい空を次世代につなぐ企業として挑戦を続けてまいります。

本報告書で佐川急便の環境保全の取り組みをご理解いただければ幸いです。

2001年10月



代表取締役社長

粟和田 崇一

21世紀統一スローガンの策定(1998.4)

佐川急便21世紀統一スローガン

## 安全 環境 そしてサービス

すべての品質を世界標準へ。

### 安全

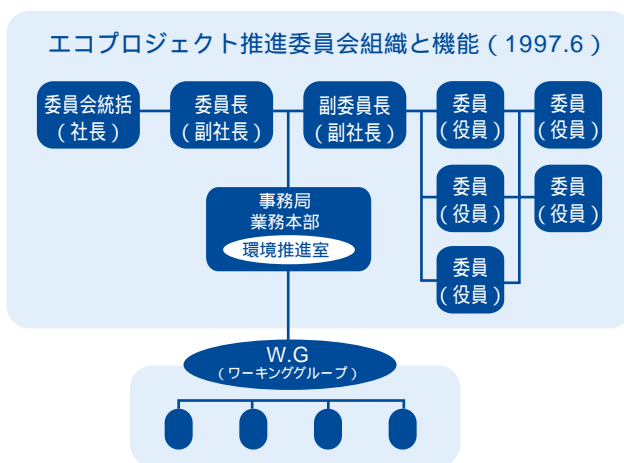
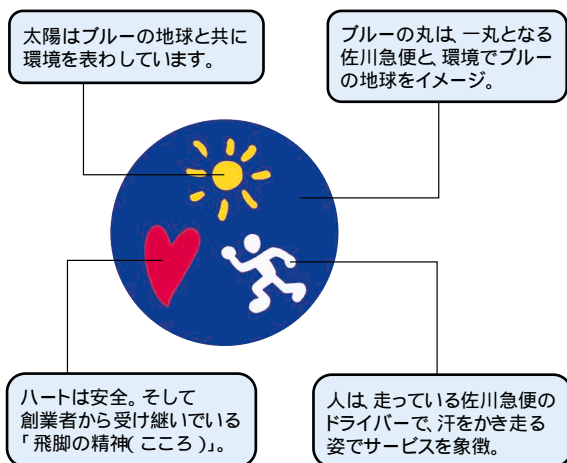
我々は運送会社であり、グループ車両約22,000台が公共の道路を使い営業しています。何よりも、安全が第一です。

### 環境

21世紀に向けて、日本だけではなく世界の何処の国でも環境の事を考えないで、健全な生活、健全な企業活動は行えません。環境を考えた企業活動を行います。

### サービス

サービスは基本ポリシーで、大きな目標の「お客様に信頼される輸送品質」の構築を行います。



## 環境憲章 / 環境理念 / 環境方針の策定(1998.4 ~ )

環境問題への取り組みは、佐川急便にとって社会的責任を果たすための重要な活動となります。

そこで私たちは、環境推進企業として一丸となってこの問題に取り組むための憲章・理念・方針を定め、それに基づく環境マネジメントシステムの維持・改善に努めます。

### 佐川急便環境憲章

佐川急便は、企業市民として、誠意をもって地球規模の環境保全と地域社会の持続的発展に取り組み、健全で調和した環境の創出に貢献します。

### 環境基本理念

環境問題とサービスの融和を、社会との共生のなかで実現していきます。

「佐川急便と、社員一人ひとりがすること、できること」をスローガンに自社の活動、サービスが環境に与える影響の重要性を認識し、環境保全及び環境負荷の低減のため、以下の方針に基づいて行動します。

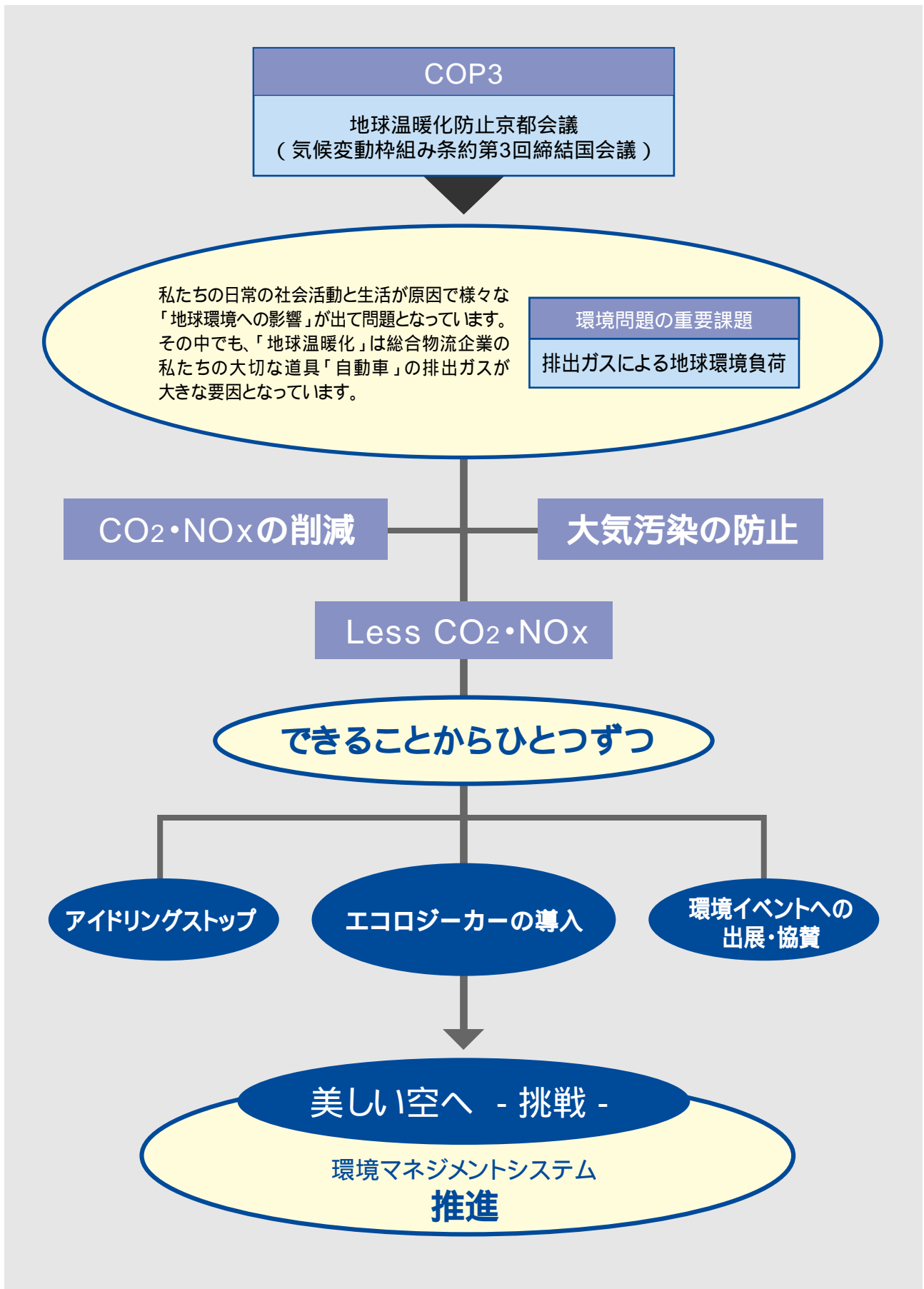
## 環 境 方 針

1. 排出ガスによる大気汚染、地球温暖化等を防止するため、エコドライブ、低公害車導入を推進し、環境負荷の継続的な改善を図り、地球環境の汚染を予防します。
2. 省資源、省エネルギー運動を推進し、廃棄物の削減、リサイクルに取り組み、それらにつながるサービス及び改善の企画、提案をして社会に貢献します。
3. 環境関連法規制、条例、協定及びその他の要求事項等を遵守し、地域社会に配慮するとともに、地域住民及び各種団体がすすめる環境保全活動に積極的に参画します。
4. 全社的な環境教育、啓発活動を行い、本方針の周知徹底と意識、知識の向上を図るとともに、広く一般に開示します。
5. 環境目的・目標を設定し、定期的に見直すことにより、環境マネジメントシステムの継続的な改善を推進します。

## 環 境 マ ネ ジ メ ン ト

1. 全社的な天然ガス( CNG )車大量導入の推進と、Less CO<sub>2</sub>・NO<sub>x</sub>として、エコドライブ推進ビデオ( 2001年6月作成 )による、全社員への環境教育・啓発。
2. 本社サイトにおける省エネルギー、省資源、ゼロエミッションを環境マネジメントシステムの環境プログラムとして実践。  
一宮SRCへのエコアイス( 世界最多台数 )や、瀬戸内パークへの環境循環システム導入。
3. 環境関連法規等を環境マネジメントシステムの一環として常に最新版管理。  
各種環境イベントへの参加・協賛等の取り組みによる環境保全活動への参画。
4. 社内報による環境特集の実施と社内行事における環境コーナーの設置による社員、家族への環境教育、啓発。  
eメールの活用、各部署への掲示による社内への環境方針の周知徹底。
5. 環境目的・目標を本社のシステムとサイトに設定し、各部署による具体的な環境プログラムの実施及び定期的な見直しと改善。







# 環境負荷低減への取り組み

## 環境活動実績・予定一覧( 2000.11 ~ 2002.3 )

2000. 11 環境マネジメントシステム導入

2000. 12 「そらいろレポート」 - 佐川急便環境報告書2000 - 発行

「そらいろレポート / 2000」



エコプロダクツ2000出展( 東京ビッグサイト )

エコプロダクツ2000

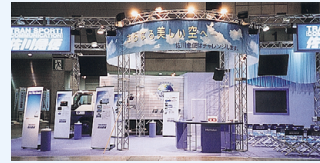


天然ガス( CNG )車導入計画( 2005年 2,450台 )公表

天然ガス( CNG )車



2001. 2 ENEX2001出展( 東京、九州 )



ENEX2001( 東京会場 )



ENEX2001( 九州会場 )

2001. 4 環境マネジメントシステム稼働

社内報「飛脚」「ふれあい」にて環境啓発シリーズ



「ふれあい」



「飛脚」

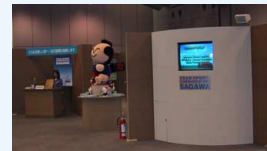


2001. 5 Sagawa Sports Festival 2001 環境啓発コーナー設置( 守山パーク )

Sagawa Sports Festival 2001



スポーツエコビレッジ出展( ATCホール )



スポーツエコビレッジ

自治体総合フェア2001出展( 東京ビッグサイト )

自治体総合フェア2001





2001. 6

東京本部へ衆議院環境委員会視察  
(環境省随行、同行視察)

衆議院環境委員会視察



大阪地区へ自家用CNGスタンド設置計画発表(東京に続き2店目)

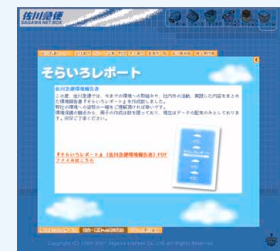
エコドライブ推進ビデオ「エコドライブの実践」制作、全国配布

エコドライブ推進ビデオ  
「エコドライブの実践」



「そらいろレポート」ホームページへ掲載

ホームページ掲載中の「そらいろレポート」



エコライフ・フェア2001出展(東京代々木公園前)  
エコカーワールド2001出展(同時開催)

- イベントカー( CNG車 )展示 -

イベントカー( CNG車 )



エコライフ・フェア2001

エコカーワールド2001



CEVかんさいフェスタ2001展示

CEVかんさいフェスタ2001



2001. 7 ~

ジャパンエキスポ北九州博覧祭2001出展(北九州市)

ジャパンエキスポ北九州博覧祭2001



2001. 8

ISO14001認証取得(本社)

2001年10月～2002年3月の環境活動計画

- 2001. 10 産業交流展出展
- 2001. 11 「そらいろレポート」発行
- 2001. 12 京都環境フェスティバル出展(予定)
- 2001. 12 エコプロダクツ2001出展(予定)
- 2002. 2 ENEX2002出展(予定)
- 2002. 2 物流と環境フェア出展(予定)

「そらいろレポート」



# 環境負荷低減への取り組み

## 天然ガス(CNG)車の特性

### クリーン

1. 燃焼時のNOx(窒素酸化物)の発生が少ない。
2. 燃焼時の黒煙の発生がない。
3. 硫黄などの不純物をほとんど含まないため、SOx(硫黄酸化物)の発生がない。

### 安全

#### 天然ガスは...

1. 空気より軽いので、拡散しやすく地上に滞留しない。
2. 自然発火温度が高いため安全である。
3. CO(一酸化炭素)等の毒性物質が含まれないので、ガス中毒の危険性がない。

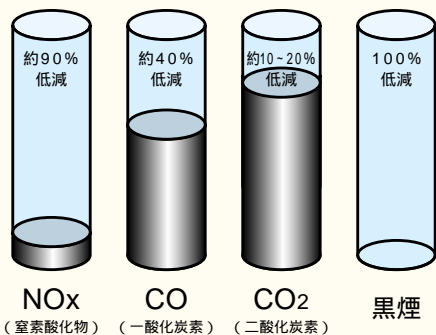


新しい天然ガス(CNG)車

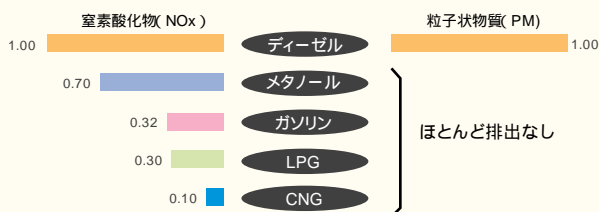
### クリーンな排出ガスで環境に優しい天然ガス(CNG)車

最大の特長は、大気汚染の原因となるNOx(窒素酸化物)・CO(一酸化炭素)・HC(炭化水素)などを大幅に削減し、また燃料中に不純物が少ないため、黒煙の排出はほとんどありません。さらに地球温暖化の原因になるCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)の発生量も10~20%低減できます。

#### 天然ガス(CNG)車とディーゼル車の性状比較



#### 燃料別の排出ガス性状比較



対象は2トン貨物車  
数値はディーゼル車を1とした時の比率 参考資料:東京都新市場創造戦略会議資料

← 1回の充填で約230~270km走行(市街地)ロングボディ仕様車で  
燃料タンク容量:52m<sup>3</sup>(200kg/CM<sup>3</sup>) [いすゞ 4HF1改 4,334ccエンジン]

← 天然ガス(CNG)車とディーゼル車は、測定モードが異なります。  
よって、左記のグラフは、比較の一例としての参考値です。

## 天然ガス(CNG)車の導入

「低公害車」には「天然ガス(CNG)車」「ハイブリッド車」などの種類があり、佐川急便では1991年(平成3年)の初期導入以来すでに全国で**579台**の低公害車を導入しています。(2001年<平成13年>10月現在)

特に天然ガス(CNG)車は**小型トラックにおける全国普及台数の約19%を保有**し、さらに導入を推進してまいります。

天然ガス自動車は、CNG(圧縮天然ガス)・LNG(液化天然ガス)・ANG(吸着貯蔵天然ガス)の3種類。

現在、世界各国で利用されている天然ガス自動車のほとんどは、CNG(圧縮天然ガス)自動車です。

低公害車保有台数(2001.10)

地区	車種		計
	天然ガス車	ハイブリッド車	
九州	3台	1台	4台
中国	8台		8台
大阪	186台	3台	189台
京都	30台	2台	32台
北陸	2台	4台	6台
中京	32台	1台	33台
東京	283台	3台	286台
北関東	9台		9台
東北	2台		2台
北海道	10台		10台
計	565台	14台	579台

天然ガス(CNG)車導入による削減効果

	2001/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	2002/3月 (予定)
全社車両台数	19,127台	19,131台	19,200台	19,166台	19,217台	19,363台	19,312台	20,000台
導入台数	294台	299台	310台	385台	446台	502台	565台	703台
NOx削減率(%)	1.38%	1.41%	1.45%	1.81%	2.09%	2.33%	2.63%	3.16%
CO <sub>2</sub> 削減率(%)	0.31%	0.31%	0.32%	0.40%	0.46%	0.52%	0.59%	0.70%

参考: CO<sub>2</sub>削減目標6%(COP3日本のCO<sub>2</sub>削減目標)をクリアするには  
佐川急便全体で約6,000台の導入が必要

佐川急便保有天然ガス(CNG)車数

**565台**

(2001.10.20現在)

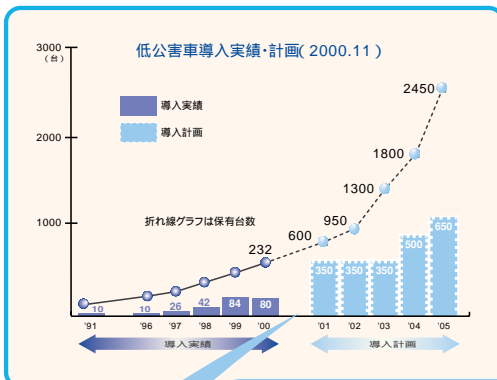
国内天然ガス(CNG)車数

全車種合計 **8,884台**(乗用車含む)

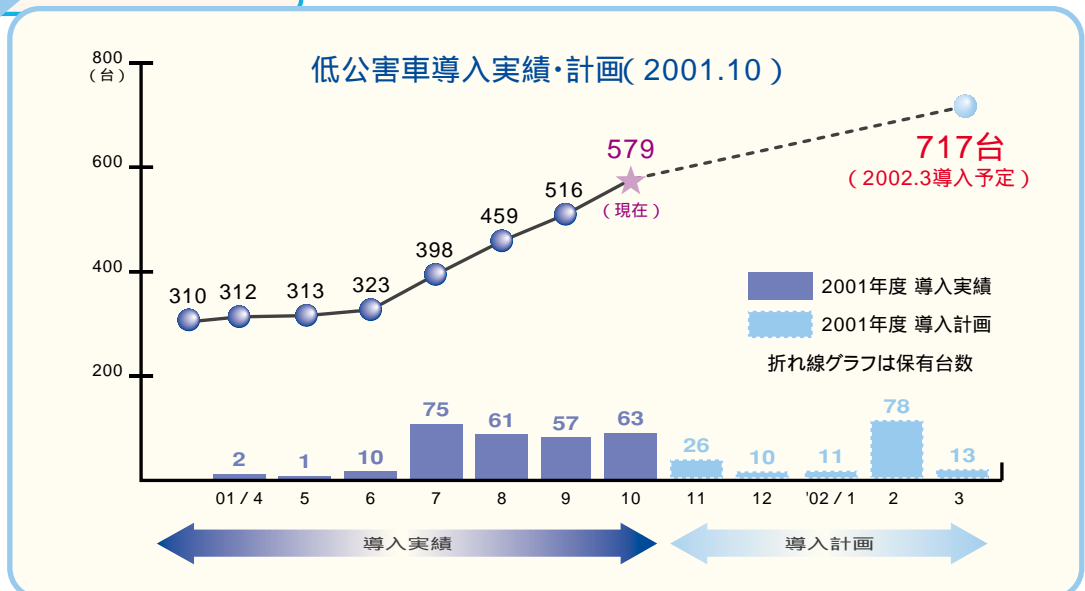
トラック合計 **2,918台**

社団法人日本ガス協会資料(2001.8.31現在)

<年度別>



<2001.4~2002.3/月別>



2001年度

# 環境負荷低減への取り組み

## 環境負荷の大きい地区から天然ガス(CNG)車の重点的導入

環境負荷低減への取り組みには、天然ガス(CNG)車の導入を最重点項目として実施しています。

弊社では、東京支社の自家用CNGスタンド設置に続き、本年度は大阪地区への自家用CNGスタンドの設置によるインフラの整備を行い、天然ガス(CNG)車の大量導入の促進を図ります。

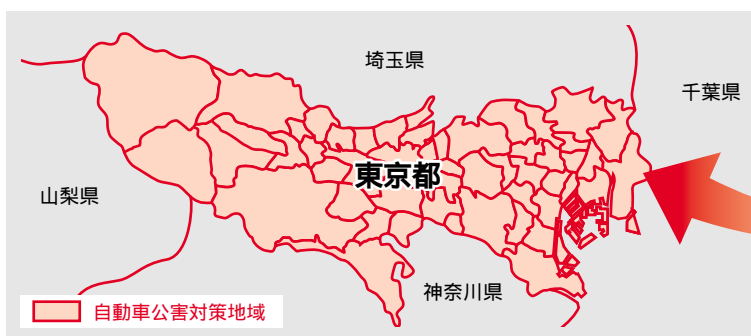
これは、東京(自動車公害対策地域)、大阪(尼崎、西淀川公害訴訟)と環境負荷の大きい地区から他地区に先駆けて環境負荷低減対策を重点的に実施していくためです。

### 天然ガス(CNG)車の導入事例

#### 東京都内：278台導入（2001.10.20現在）

東京都で施行された「東京都環境確保条例」の自動車公害対策として、平成15年10月より、新車から7年を経過したディーゼルトラック・バスの運行が禁止されます。

佐川急便では、平成12年11月、都庁で開催された「新市場創造戦略会議」において「インフラ整備等の条件がそろえば、都内3,000台の集配車を天然ガス(CNG)車に代替する」との報告をしています。

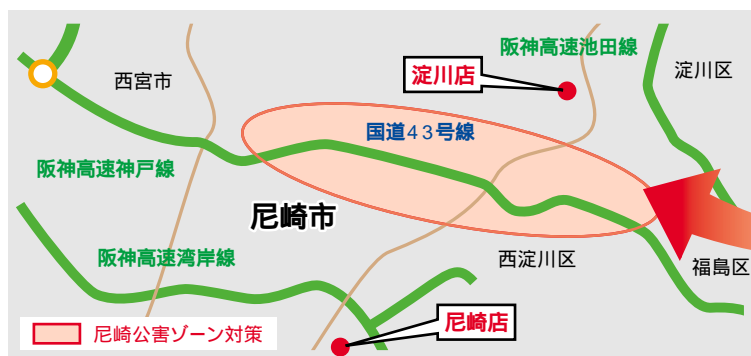


#### 大阪地区：186台導入（2001.10.20現在）

##### 尼崎市・淀川店

尼崎公害訴訟に対応し、率先して尼崎市、淀川店に天然ガス(CNG)車を導入しています。特に尼崎市では2～3トクラスの全集配車を天然ガス(CNG)車に替える予定です。また、淀川店への自家用CNGスタンド設置決定は、大量導入促進の原動力となります。

今年度中には、淀川店に自家用CNGスタンド竣工。尼崎市では、天然ガス(CNG)車への全車代替(2～3tクラス)を予定しています。





CNGスタンドの規模と能力

東京店CNGスタンド



東京店CNGスタンドの規模と能力数値

充填能力: 10台 / 1h(1台30m<sup>3</sup>として)

圧縮機	300m <sup>3</sup> / h×1機
蓄ガス器	250L×8本
ディスペンサー	1基

・現在約120台が利用

今期  
増設計画中

2001年6月、衆議院環境委員会の方々、改正NOx法の審議の一環として、東京本部及び東京店CNGスタンドの視察にこられました。当日は、弊社の環境への取り組みもあわせてご紹介しました。



淀川店CNGスタンド(2002.1竣工予定)



(イメージ)

淀川店CNGスタンドの規模と能力数値

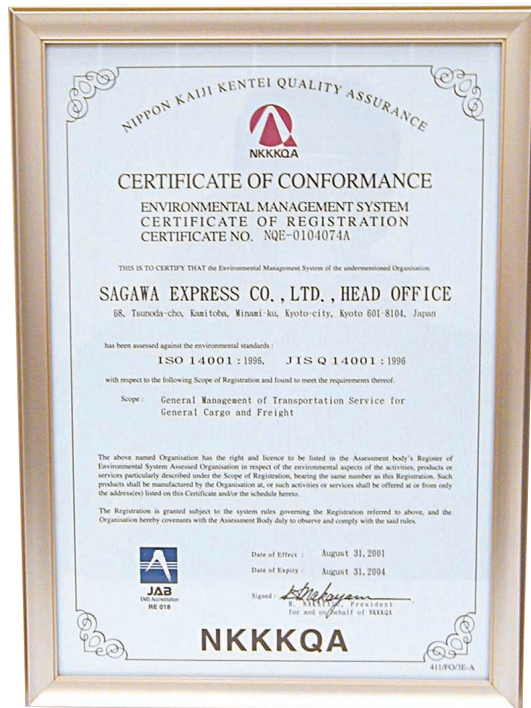
充填能力: 8~13台 / 1h(1台30m<sup>3</sup>として)

圧縮機	250m <sup>3</sup> / h×1機
蓄ガス器	250L×10本
ダブル型ディスペンサー	1基

次は名古屋地区の美しい空へ - 挑戦 - !!

# 環境負荷低減への取り組み

環境マネジメントシステム推進の一環として、佐川急便本社にてISO14001の認証を取得いたしました。



## 環境目的

### 全社活動

排出ガスによる地球環境負荷の低減  
社内環境啓発



## 社内外での環境啓発

### イベントカー( CNG車 )のデビュー

エコライフ・フェア2001と同時開催されたエコカーワールド2001に環境イベントカー( CNG車 )を展示しました。



荷台はプレゼンテーション用ステージとして使うことができます。



社内外における環境啓発のシンボリックな存在としてイベントカーを製作し、イベント開催時に出展・展示を行うと共に、荷台をプレゼンテーション用ステージとして活用し、環境啓発活動の取り組みを紹介しています。

## 各部署での取り組み

### Less CO<sub>2</sub>-NO<sub>x</sub>

アイドリングストップ



### 省エネルギー

消費電力削減



### ゼロエミッション

分別～リサイクル



### 省資源

紙の削減



- '00.3～'02.3 「環境情報」を本社社員へeメール送信 社内報「飛脚」「ふれあい」環境コーナー設置
- '01.5 緊急事態対応防災訓練実施
- '01.5 「佐川スポーツフェスティバル」において環境イベント実施
- '01.6 環境報告書「そらいろレポート」をホームページ上に開設
- '01.6 「エコドライブ」ビデオ制作・配布(グループ全体)
- '01.7 「佐川急便全国ドライバーコンテスト」にて環境への取り組みを紹介

# 社内環境啓発活動

## 社内における環境イベント

佐川急便21世紀統一スローガン「安全 環境 そしてサービス」に基づき Sagawa Sports Festival 1998の開催から、社内への環境啓発として環境コーナーを設置。

【イベントタイトル】 Sagawa Sports Festival 2001

- 第29回佐川急便全国野球大会
- 第12回佐川急便全国綱引競技大会
- 第7回佐川急便全国サッカー大会

【環境イベントテーマ】 みんなで考えよう! ごみとリサイクル

- 啓蒙
1. クイズラリー
  2. パネル展示
- 啓発
1. ソーラーカーレース
  2. 草木染め教室
  3. ヨシと牛乳パックの紙すき工房 ヨシ笛作り

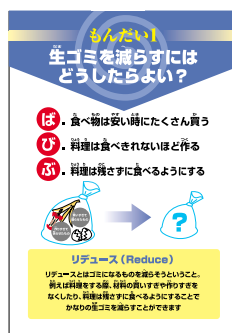
【来場者】 環境コーナー4,426人



ごみとリサイクル展示什器



クイズラリー出題パネル(一部)



## ドライバーコンテスト

「佐川急便全国ドライバーコンテスト」は、第一に、「輸送の安全確保におけるプロドライバーの育成」を目的としています。したがって、コンテストにおいて審査されるのは、選手たちの競技にあられる「普段の安全運転とエコドライブ」。プロドライバーとしての「安全運転とエコドライブ」を日頃の業務において確実に遂行しているか、ということ。そして、これは名実ともにプロドライバーであるために必要な条件であることは言うまでもありません。



オイルの点検



空気圧の点検



運転競技



縦列駐車



設置物との間隔距離測定

## 環境のために社員一人ひとりがすぐに実践できること 「エコドライブ」

安全運転=エコドライブ

### エコドライブの実践ポイント

1. 基本は走行前の点検・整備
2. 運転中、資源の無駄を無くす
3. 運行以外の配慮も必要

道具もさることながら、大切なことは人間一人ひとりが環境のことを意識して、日々実践することです



大気をこれ以上汚さないために人間一人ひとりができることとして、セールスドライバーをはじめとした全社員にエコドライブの実践を啓発しています。その活動のひとつがアイドリングストップです。アイドリングストップとは車の停車中はエンジンを切る行為のことです。

車の排気ガスに含まれる有害物質( NOx <窒素酸化物>、CO<sub>2</sub> <二酸化炭素> )の排出を少しでもへらすため、佐川急便の全国20,000人のセールスドライバーは、「アイドリングストップ」を常に心がけています。

## エコドライブ実践のポイント

### エコドライブ Act.1 / 基本は点検・整備

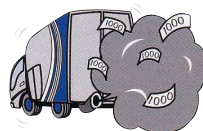
環境に悪影響を及ぼす項目

- エンジンオイルの不良
- タイヤ空気圧の不良
- アイドリングの不適正
- エアクリーナーの目詰まり
- 燃料フィルタの目詰まり
- バルブクリアランス
- 燃料噴射ノズルの噴射圧力および噴霧状態
- 燃料噴射ポンプの噴射時期および噴射量など



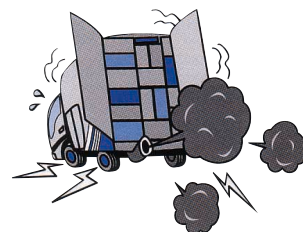
### エコドライブ Act.2 / 運行中、資源の無駄を無くす

- 不必要なアイドリング
- 空ぶかし
- 急発進、急加速、波状走行
- 経済速度の厳守
- ブレーキング
- 高速走行



### エコドライブ Act.3 / 運行以外の配慮も必要

- 過積載
- 違法駐車





# Publicity

## 全社あげ「環境」を重視 低公害車導入など多彩に

読売新聞 トップインタビュー取材を受け弊社社長 栗和田榮一が  
環境対策を中心に現状の取り組みと今後の施策について紹介。



インタビュー  
川合 彩 アナウンサー

社長 栗和田 榮一

<読売新聞 2001年8月10日(金)夕刊>

ー佐川急便では、97年にエコプロジェクト推進委員会を発足させ、98年には環境問題への取り組みで環境庁長官から表彰もされていますが、環境問題に高い関心を寄せられる理由は？

「トラックが必要不可欠な流通業にとって、大気汚染や温暖化現象は避けて通れない問題です。しかも、社会の動き、業界の立場、将来を考えれば今ここで一歩踏み出さなければなりません。そして取り組んだ以上、具体的なアクションを起こさなければ、説得力はありません。幸いにも現在、当社にはアクションを起こせるだけの資金力と人的資産がありますので、

ー具体的にはどんなアクションですか？  
「低公害車の導入には積極的です。トラックから排出される有害物質、例えばNOxなどの排出量が一番少ない

天然ガス車は、全国の天然ガストラックの13%を占めていますが、今後も導入を推進していきます。さらに、インフラの整備、社員教育、社内組織も改革、社員の家族も含めた啓発なども実施中です。満足できる状況ではありませんが一歩踏み出さなければ次の一歩もありませんから、

ー社員教育にも環境問題を取り入れたりと、全社的な取り組み方ですね。

「役員がエコプロジェクト推進委員会のメンバーですが、まず上が変わらなければ下は変わりません。まだ始まったばかりですが、気負わず、息長く続けようと思います。」

ーアイドリングストップ・キャンペーンは、ユニークな方法で実施中とか。

「エンジンを無駄に動かさない、という趣旨でエンジンキーとドライバーを結

ぶオリジナルチェーンを作って配布し、車を離れるときは必然的にキーを抜くようにしました。単純な道具ですが、だれでもアイドリングストップが実行でき、実際いちばん効果があります」

ー香川には、環境対策設備が整った保養施設も作られたそうですね。

「環境循環完結型の総合保養施設、瀬戸内パークです。ここでは風力発電による省エネルギーや、コンポストによるリサイクルなどに取り組んでいます」

ー最後に社長の夢は？

「私の故郷の新潟では、今やセミの声は聞こえず、川釣りも楽しめません。農薬や護岸工事の結果ですね。私の思想は、自然豊かで他人を思いやり、日本人が日本人としてのアイデンティティーを持っている日本にすることですが、できることからやってみようと思っています」

## 環境負荷低減活動を日経エコロジーに広告掲載

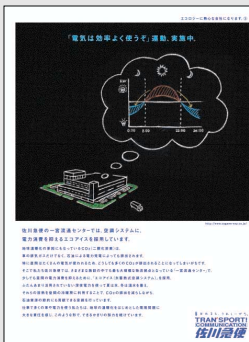
環境シリーズ広告 日経エコロジー 2000年12月号～2001年3月号



2000年12月号



2001年1月号



2001年2月号



2001年3月号

## ニュース番組で放映

2001年5月24日(木)NHK制作の特集番組「首都圏ネットワーク」にて大気汚染対策のひとつとして、トラック事業者による低公害車導入に対しての公的な支援策(補助金の申請と許可)の現状と弊社の取り組みが紹介されました。



本年度申請において弊社はトラック協会を通じ協会内では最多台数の300台の導入申請を提出しています。低公害車の導入に関してはこの補助金申請許可の如何にかかわらず、年間目標としての導入を実現するために、事業計画でも推進を図る体制を整えています。

環境管理責任者  
専務取締役  
業務本部長 辻尾 敏明



## 「佐川急便」天然ガス車(CNG)導入

2005年までに2450台 鉄道輸送なども活用 輸送の効率化を図る

地球環境を守れ シリーズ 一企業環境対応最前線一  
エコプロジェクトチームのチャレンジにて紹介



低公害車・天然ガス車(CNG)の導入を積極的に推進する一方、ドライバー一人ひとりのアイドリングストップ運動を展開する。鉄道のコンテナ輸送を取り入れた物流の効率化にも取り組んでいる。各種施策の実現には行政や関係業界の協力も求められている。



業務本部  
環境推進室室長  
別所 恭一

<ニッポン消費者新聞 2001年7月1日(日)>

## 「低公害」前途険しく 変われクルマ社会 スス除去装置国産品未完成 都への申請 初日ゼロ

一方で、都の規制を好機ととらえる企業もある。「佐川急便」(本社・京都府)では、集配用トラックの圧縮天然ガス(CNG)車への転換を進めている。CNG車は有害物質をほとんど出さない。都内だけで既に百台以上を配備し、今後七年で三千台をCNG車にする。天然ガス供給スタンドも自前で設置し、将来的にはこれを拡大してスタンド事業に乗り出す計画もある。「環境対策費はもはや必要な設備投資費。今なら企業イメージアップにもつながる」と、同社では先行投資のPR効果を期待している。

<読売新聞 2001年7月3日(火)>

## 全集配車をCNGに 公害訴訟に対応 佐川急便/尼崎市内

佐川急便(本社・京都府京都市、栗和田榮一社長)は今年度、兵庫県尼崎市内にある尼崎営業所の二~三トクラスの全集配車を圧縮天然ガス(CNG)車に切り替える。同営業所が保有する七十台の車両のうち、幹線輸送や大口荷主向けの四トン車を除く五十台が対象。昨年十二月に和解した尼崎公害訴訟に対する、トラック事業者としての環境負荷低減策の一つ。今年大阪市内に完成予定の、自社CNGスタンドが導入を促した。

<輸送経済新聞 2001年7月10日(火)>

## 大阪にCNGスタンド 佐川急便 東京に続き2支店目

佐川急便(本社・京都府京都市、栗和田榮一社長)は大阪府の淀川営業所内に、圧縮天然ガス(CNG)スタンドを設置する。平成十一年四月に設置した東京支社に続き、二カ所目の自社スタンド。投資額は約一億二千万円。今月中にも経済産業省に助成金を申請し、年内にも完成する予定。今回設置するスタンドは、一時間当たりCNG車七台のガス充てんが可能。スタンド設置で、ディーゼル車からCNG車への転換が加速する。今年は関西で、百十台のCNG車への転換を進める。同社は環境対策として、平成三年に初めてメタノール車を十台導入。平成九年からはCNG車も採用した。同社のCNG車導入ペースに比べ、行政やガス供給メーカーによるスタンド設置が遅いため、あえて自社スタンド設置に踏み切った経緯がある。同社のCNG車保有台数は平成十三年一月時点で二百四十二台。うち東京は百三台、大阪は七十二台。今年度中に、全国で約三百五十台のディーゼル車をCNG車に転換し、六百台にまで増やす。

<輸送経済新聞 2001年6月12日(火)>

# 環境啓発コミュニケーションイベント

## 社外における環境イベント出展

### 環境コミュニケーションイベントコンセプト

#### 佐川急便 環境循環型企業への革新

経済の持続的発展と環境に配慮して物流を戦略的に構築、  
環境マネジメントシステムの推進による「グリーンロジスティクス」の構築

総合物流企業としての取り組み

環境循環型企業への取り組み

環境保全活動の実践紹介

### 概要

環境負荷低減の継続と、環境循環型企業への革新を推進する  
環境マネジメントシステムの紹介  
また、経済を支える総合物流企業としての紹介と  
その立場からの環境保全活動の実践紹介

### 出展・協賛実績(2000.12～2001.9)

12月 エコプロダクツ2000



2月 ENEX2001(東京・九州)



5月 スポーツエコビレッジ



5月 自治体総合フェア2001



6月 エコライフ・フェア2001  
エコカーワールド2001  
(同時開催)



6月 CEVかんさいフェスタ2001



7月 ジャパンエキスポ北九州博覧祭2001



### 来場者数

(主催者発表)

67,838名

53,144名

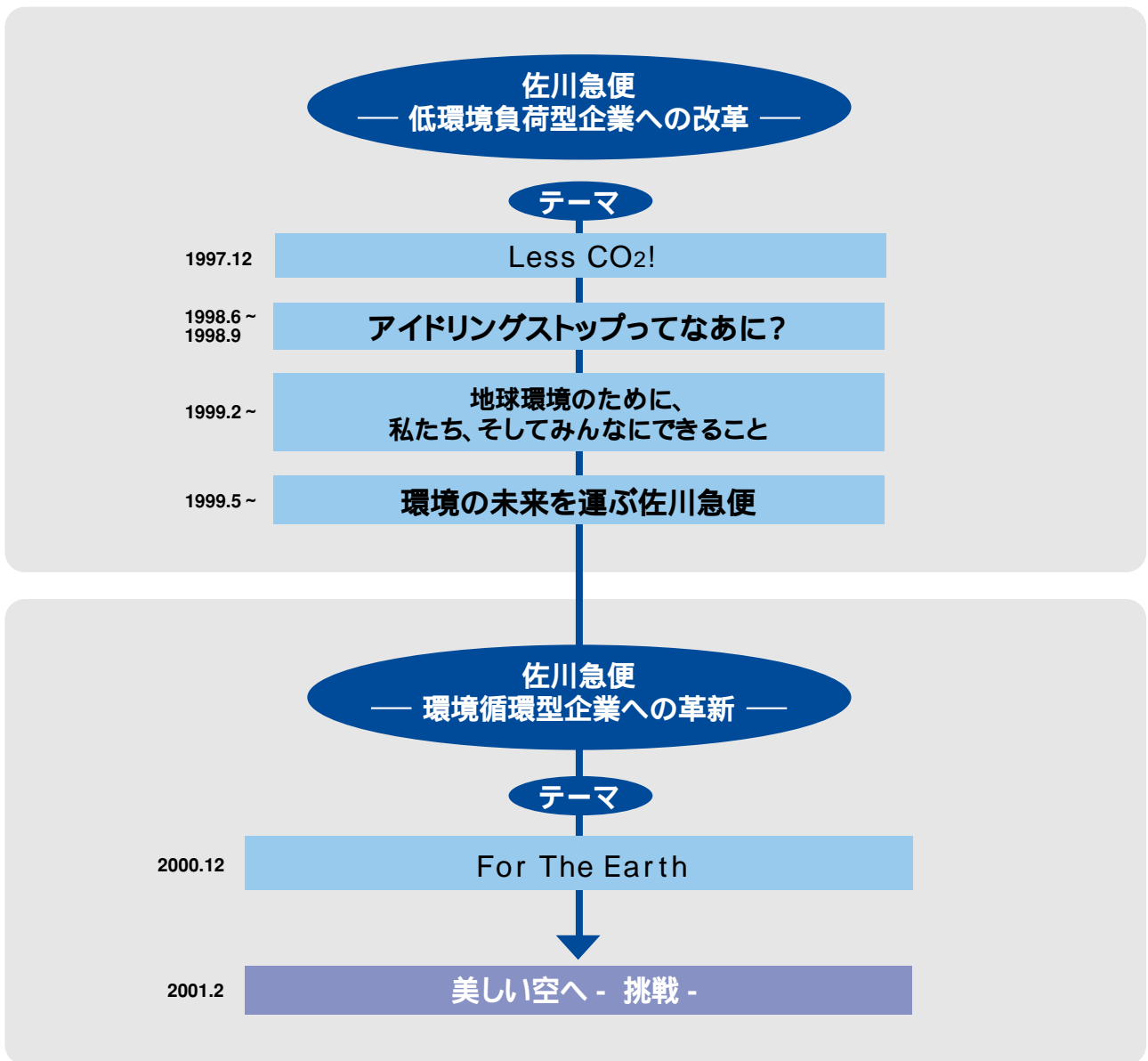
20,300名

53,292名

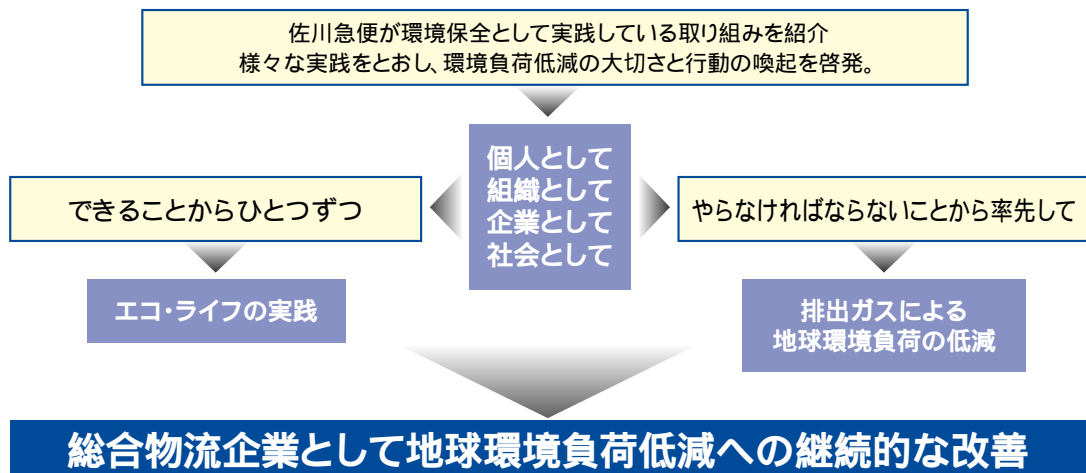
7月～11月  
開催



## 社外環境啓発活動におけるテーマの変遷



### 概要



# 環境啓発コミュニケーションイベント

## エコプロダクツ2000

- 【開催タイトル】 地球と私のためのエコスタイルフェア  
エコプロダクツ2000
- 【目的】 消費者・生産者双方の環境意識を高め  
エコプロダクツの普及促進
- 【出展テーマ】 さらなる美しい空へ佐川急便は挑戦します
- 【日時もしくは期間】 2000年12月14日(木)10:00～17:00  
15日(金)10:00～17:00  
16日(土)10:00～17:00
- 【会場】 東京ビッグサイト 東展示場
- 【内容】 エコプロダクツに関する情報発信、意見交換、教育啓発を目的に、家電や自動車、オフィス機器、日用品などの一般消費財から、エネルギーや素材・材料などの産業財まで、あらゆる分野のエコプロダクツを一堂に展示します。



展示シート(一部)



スタンプラリーチェックシート

## ENEX2001

- 【開催タイトル】 ENEX2001  
第25回 地球環境とエネルギーの調和展  
(25th ENERGY & ENVIRONMENT EXHIBITION)
- 【目的】 国民階層に対する省エネルギーと地球環境保全の意識の高揚並びに、省エネルギー、新エネルギーの技術、機器、システム等の普及促進
- 【出展テーマ】 美しい空へ - 挑戦 -
- 【会場・日時】  
東京会場:東京ビッグサイト 東展示場  
2001年2月7日(水)10:00～17:00  
8日(木)10:00～17:00  
9日(金)10:00～16:00  
  
九州会場:西日本総合展示場  
2001年2月22日(木)10:00～17:00  
23日(金)10:00～17:00  
24日(土)10:00～16:00
- 【内容】 展示シートとステージイベントで佐川急便の環境への取り組みを紹介

東京会場来場者

	主催者発表の 来場者数	佐川急便ブース 来場者数
2/7(水)	8,795人	1,186人
2/8(木)	14,973人	1,944人
2/9(金)	16,890人	1,981人
計	40,658人	5,111人



九州会場来場者

	主催者発表の 来場者数	佐川急便ブース 来場者数
2/22(木)	3,308人	518人
2/23(金)	4,416人	710人
2/24(土)	5,062人	872人
計	12,786人	2,100人



展示シート(一部)



# スポーツエコビレッジ

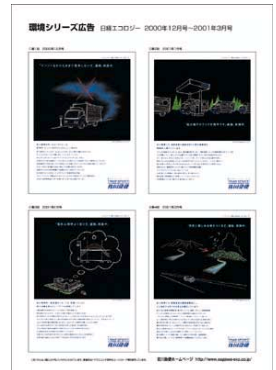
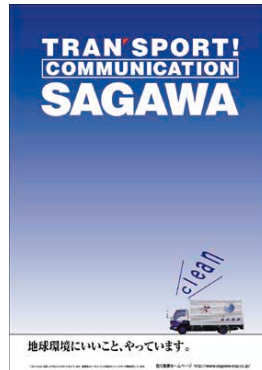
- 【開催タイトル】 「大阪から、スポーツと環境を考える。」
- 【出展テーマ】 美しい空へ - 挑戦 -
- 【日時もしくは期間】 2001年5月18日(金)~23日(水)-6日間
- 【会場】 ATCホール(Aホール)
- 【内容】 環境ビデオ上映 パネル展示  
キティちゃん(ハローキティコスチューム  
ドール佐川急便)が当たるアンケート



出展パネル(一部)



スタンプラリーチェックシート



# 自治体総合フェア2001

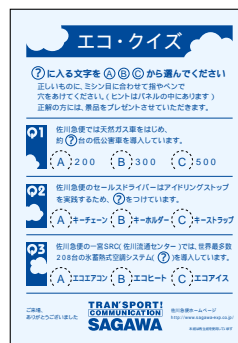
- 【開催タイトル】 自治体総合フェア2001
- 【目的】 全国各地から来場される自治体・関係者をはじめ、企業・民間団体が集い、それぞれが相互に交流し、自治体が抱える課題解決の場となること
- 【出展テーマ】 美しい空へ - 挑戦 -
- 【日時もしくは期間】 2001年5月23日(水)10:00~17:00  
24日(木)10:00~17:00  
25日(金)10:00~17:00
- 【会場】 東京国際展示場(東京ビッグサイト)  
西展示棟第3ホール/会議棟
- 【内容】 1 環境プレゼンテーションの実施 10分間、1日8回実施  
2 環境パネルの掲出とそれに関わるクイズの実施



出展パネル(一部)



	主催者発表の 来場者数
5/23(水)	5,950人
5/24(木)	6,370人
5/25(金)	7,980人
計	20,300人



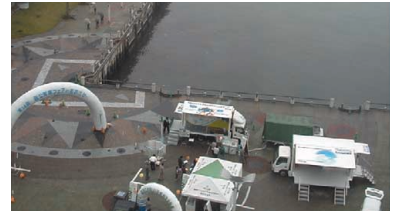
エコクイズ  
チェックシート





## CEVかんさいフェスタ2001

- 【開催タイトル】 CEVかんさいフェスタ2001
- 【目的】 大阪市では、大気汚染を改善するために低公害車の普及に努めていますが、この低公害車に対する理解をより深めていただくため
- 【出展テーマ】 美しい空へ - 挑戦 -
- 【日時もしくは期間】 2001年6月22日(金)~24日(日)3日間
- 【会場】 ATCホール
- 【内容】 イベントカー( CNG車 )の展示と佐川急便の取り組み紹介



## ジャパンエキスポ北九州博覧祭2001

- 【開催タイトル】 「響きあう人・まち 技術」
- サブテーマ:  
「モノづくりの心を未来へ育む」  
「環境産業の新しい風を起こす」  
「アジアとの交流をさらに深める」  
「やすらぎと楽しさに満ちたまちを造る」
- 【出展テーマ】 さらなる美しい空へ
- 【日時もしくは期間】 2001年7月4日(水)~11月4日(日)4か月間
- 【会場】 北九州市八幡東区: JRスペースワールド駅前
- 【内容】 パネルによる佐川急便の取り組み紹介  
エコゲーム  
ひきゃく君とチャレンジ



出展パネル(一部)

自家用車やトラックなど、私たちの生活に車は欠かせないものです。車の排気ガスには二酸化炭素(CO2)、窒素酸化物(NOx)、微粒子物質(PM)など地球環境に悪い影響を与える物質が含まれています。佐川急便では、少しでもこれらの物質を減らし、空気をきれいにするよう、いろいろな活動に取り組んでいます。

**チャレンジ!** 地球環境のことを考え、環境にやさしい取り組みを行っています。地球温暖化防止の取り組みとして、CO2削減に取り組んでいます。

**チャレンジ!** 燃費の効率化をすすめています。燃費の効率化をすすめています。

**チャレンジ!** 天然ガス車を300台導入しています。CO2削減の取り組みとして、天然ガス車を導入しています。

**チャレンジ!** アイドリングストップを行っています。エンジンを停止することでCO2削減に取り組んでいます。

**チャレンジ!** 他にもできることをひたひたチャレンジしています。他にもできることをひたひたチャレンジしています。

Sagami Express has been introducing ecologically friendly vehicles since 1991, according to the local government and related groups' requests. Since the First Conference of the Parties to the United Nations Framework Convention on Climate Change in Kyoto (COP3) in 1997, having the head office located in Kyoto, we have installed ecological project committees mainly by executive members and have been striving on environmental issues. We are especially working on the world's emergency issue of reducing CO<sub>2</sub>, NOx and PM by spreading, populating and introducing natural gas vehicles. Sagami Express will continue to promote ecologically friendly vehicles along with the prevention of global warming and other environmental issues.



**排気ガスのきれいな天然ガス車の導入をすすめています。**

**トラックから離れたとき、エンジンを切る運動を続けています。**

**輸送の効率化をすすめて、できることから取り組んでいます。**

**環境保全を考慮、できることから取り組んでいます。**

排気ガスのきれいな天然ガス車の導入をすすめています。天然ガス車

トラックから離れたとき、エンジンを切る運動を続けています。アイドリングストップ

輸送の効率化をすすめて、できることから取り組んでいます。トラック

環境保全を考慮、できることから取り組んでいます。佐川急便は天然ガススタンドを全国に展開し、環境にやさしい輸送を実現しています。また、国内最大の物流センターの一部にエコドライブシステムを導入し、そのほか、一歩一歩取り組むことで、環境にやさしい輸送を実現しています。

## 2001年 さらなる美しい空へ —挑戦—

2001年 佐川急便は地球環境保全のため  
佐川急便と社員一人ひとりが  
「できることからひとつずつ」環境負荷低減活動を実践し  
環境推進企業として環境問題とサービスの融和を  
社会との共生の中で実現していきます。

### 2001年から2002年にかけて

環境マネジメントシステムの継続的改善の推進  
天然ガス(CNG)車の大量導入  
自家用天然ガススタンドの設置推進  
エコドライブのさらなる推進  
モーダルシフト  
グリーン調達・購入  
循環型物流の構築によるビジネスチャンスの拡大

グリーン経営への展開をはかり  
2002年 さらなる美しい空へ  
**—挑戦—**



# 会社概要

本 社 京都市南区上鳥羽角田町68番地  
Tel ( 075 )691-6500( 代表 )

支 社 九州・四国・中国・大阪・京都・北陸・  
中京・東京・北関東・東北・北海道

創 業 1957( 昭和32 )年3月

社 長 栗和田榮一

資 本 金 10億9,790万円

売 上 げ 7,231億円

従 業 員 数 21,459名

認可車両台数 14,021台

佐川急便グループの地区法人を含む( 計38社分 )

従業員数:29,666名

認可車両台数:19,486台

( 2001年3月現在 )

# TRANSPORT! COMMUNICATION SAGAWA

本報告書の内容は2001年10月現在のものです。  
この環境報告書に関するお問い合わせは  
環境推進室まで

2001年11月発行

京都市南区上鳥羽角田町68番地  
佐川急便株式会社 本社 環境推進室  
TEL.075-691-6500  
<http://www.sagawa-exp.co.jp/>

この環境報告書は、再生紙と  
大豆油インキを使用しています。



古紙配合率100%再生紙を使用しています

